

意見提出フォームから頂いたご意見（令和8年5月）

NO	学校区	ご意見
1	陶	<p>先日、再編対象地区でのオンラインによる「自己紹介カード」の作成についての通知がありました。</p> <p>氏名、顔写真等の個人情報漏洩を懸念していた矢先に某著名人の不祥事が報道されました。不祥事発覚は近年、急速に発達しているAIにその方のお子さんが相談し、その結果、逮捕など大々的な報道がされました。</p> <p>この経緯を検証すると色々な問題があります。</p> <p>一つ目はまだ社会性が発達段階の年代にとってはAIなどの情報が全て正しいと思ってしまう傾向であること、もう一つは「相談」を対面や電話など自分の肉声、感情を人間ではなく、機械に表現したこと、また助言も人間の肉声や感情を通じて受けたのではなく、無機質な機械から受けたことです。</p> <p>今の子供達はAIやネットに対しての認識はこの件で私たち大人が認識できたと思います。</p> <p>だからこそ、東部再編に伴う自己紹介カードの作成は対面交流を行っていない現段階では時期尚早だと思います。</p> <p>東部再編地区でオンライン交流を実施する前に、まずは「対面」での交流を実施したり、自校の同じクラスや他の学年で試験的に自己紹介カード作成を実施し、そのメリット、デメリットを検証してから東部再編全体へとステージを広げていく方がよりネットへの安全性が確立されると思います。</p> <p>より安全が確立された運営がされるよう教育委員会主導で行っていただきたいです。</p>
2	陶	<p>10月23日に再編される3年生と6年生との学校間交流があります。</p> <p>今年度で卒業する6年生に対しても学校間交流を開催する必要性はあるのでしょうか。</p> <p>「中学校入学前の交流」が定義でしたら再編対象地区、再編対象地区外、すべての6年生を対象に「学校間交流」を開催必要性があります。</p> <p>仮に「再編地区」のみの開催となれば「再編対象地区」「再編対象地区外」とでの「交流頻度」の整合性がとれません。</p> <p>また、再編対象地区は授業として交流行事が行われますが再編対象地区外では通常授業となります。</p> <p>小牧市内でも教育の格差が生じますし法律で保障されている教育の平等の観点からも「再編対象地区」と「再編対象地区外」との「教育の差(授業を交流会として使うのか、通常授業に使うのか)」が生じます。「再編対象地区」「再編対象地区外」での教育の整合性について見解を示して下さい。</p> <p>中には成績を上げたり、受験を進路視野に、交流会より通常授業をしてほしい6年生もいますから。</p>